

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいがいしゃあーと・めでいあ・おふいす		団体ウェブサイトURL
	株式会社アート・メディア・オフィス		
代表者職・氏名	代表取締役 下田文之		
制作団体所在地	〒 167-0067	最寄り駅(バス停)	成城学園前駅
	東京都世田谷区喜多見6-4-13-201		
電話番号	03-6411-8113		
ふりがな 公演団体名	ほうがくぐるーぷたまてばこ		団体ウェブサイトURL
	邦楽グループ「玉手箱」		http://www.art-media.jp/
代表者職・氏名	代表 清野さおり		
公演団体所在地	〒 266-0034	最寄り駅(バス停)	学園前駅
	千葉県千葉市緑区おゆみ野有吉6-11		
制作団体 設立年月	平成元年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役下田文之	オペラ歌手約30名、楽器奏者約20名、スタッフ約10名、マネージメント演奏団体11団体。 邦楽グループ「玉手箱」は、国際的な活躍で知られた現代邦楽奏者の故高田和子氏が東京芸術大学出身の若手を集め平成14年より当社にて学校公演を実施。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	長嶺尋深
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	長嶺尋深
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	nagamine@art-media.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>平成元年株式会社設立。同時に劇団ミュージカルプラザ設立。 平成4年コンサート部門として東京子ども音楽館設立。 年間約100～130校の学校芸術鑑賞会を実施。 特色としては、専門的教育機関を修了した演奏者をキャスティングし、クラシック音楽を基礎とした音楽性の高い、児童・青少年向けのオペラ・ミュージカル・コンサートを制作し、各ジャンルの演奏団体の子ども向けコンサートのマネージメントも多数手がけている。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>全国の小・中学校・高校の芸術鑑賞教室、教育委員会・会館ホールの自主事業など多数。 米沢市教育委員会、高山市教育委員会、富山県新湊市文化振興財団、福井県文化振興財団などの主催で、小中学生を対象に実施。</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>文化庁巡回事業において、各地の特別支援学校にて公演実施。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」Pert II				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「邦楽 歌ものがたり」～日本の伝統音楽を子供たちに伝えるために～</p> <p>1. 鹿の遠音 2. 初夏の印象 ※または「ひぐらし」 3. 遊人夢(ゆうとむ) 4. 七福神 ※または「松竹梅」 5. 世界の民謡メドレー ※または「ワールド・トリップ！」 6. 合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう</p> <p>公演時間90分 ※別添え「邦楽 歌ものがたり」プログラム例・「邦楽入門コンサート」紹介チラシ</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	演目曲	
	該当事項がある場合	権利者名 JASRAC	許諾確認状況	採択後手続き予定	
演目概要	<p>1. 「鹿の遠音」は古くから伝わる琴古流尺八本曲の名曲です。独奏または二重奏で演奏します。</p> <p>2. 「初夏の印象」は梅雨のじっとりした第一楽章、夏祭りの太鼓をイメージした第二楽章からなる箏高音・低音の二重奏です。 ※または「ひぐらし」は夏の終わりにカナカナと鳴き勢いよく夏を生きる蝉を前半の合奏で、その短いかなげな一生を後半の歌で表現しています。</p> <p>3. 「遊人夢」は玉手箱創設者である故高田和子氏が現代作曲家の沢井比可流氏に作曲を依頼した三味線二丁と十七絃のロック調で大変りの良い曲です。</p> <p>4. 「七福神」は七福神の神々を歌った山田流の歌ものです。箏歌と浄瑠璃に分かれて演奏します。途中ツレや合いの手で全員合奏となり山田流らしい華やかさと粋な格好良さが聴きどころです。 ※または「松竹梅」は地唄箏曲の手事ものです。公演では山田流・生田流合同で演奏します。</p> <p>5. 「世界の民謡メドレー」は出演者全員での合奏曲です。世界各地の有名な民謡がメドレー形式で次々に登場、楽しい曲調に仕上げられています。 ※または「ワールド・トリップ！」は世界各地の有名な民謡等を演奏します。</p>				
演目選択理由	<p>1. 「七福神」は山田流の“歌もの”の中でも登場人物が七福神と面白い歌詞のため、子供たちにも分かりやすく、イメージしやすい内容です。または「松竹梅」は“手事もの”という器楽曲で玉手箱公演では山田流・生田流それぞれの歌の部分が聴きどころです。</p> <p>2. 「鹿の遠音」は音楽の教科書にもある大変有名な曲です。実際に生演奏で聴くことにより尺八の音色を身近に感じて頂きます。</p> <p>3. 「初夏の印象」は箏の曲に古いイメージがあるかもしれない現代の子供たちに、箏の二重奏ってすごい！と感じてもらえる息の合った器楽曲です。</p> <p>4. 「遊人夢」は三絃二丁の珍しいバチの使い方が面白く、ロック調のリズムや十七絃の重低音の旋律が聴き所です。玉手箱公演では三絃と琵琶と十七絃の三重奏で演奏します</p> <p>5. 「世界の民謡メドレー」では、原曲の持ち味を重視した形やオリジナリティを大胆に盛り込んだものなど各曲によって異なる角度からのアプローチがなされた編曲となっています。または「ワールド・トリップ！」はどこかで聞いた事のある有名な曲で世界各地を巡ります。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>児童・生徒演奏体験用の楽器を当方で持ち込みます。</p> <p>ワークショップ時に欠席等で参加できなかった児童生徒さんにも、可能な限り楽器体験の時間を設けます。</p> <p>体育館ステージまたはフロアに舞台と客席という空間を創り鑑賞して頂きます。</p> <p>一曲ごとに解説やお話しを入れることで、曲にも親しみやすく演奏者を身近に感じて頂けると思います。</p> <p>公演前には、事前に決定した代表児童生徒さんのステージ練習を行います。</p> <p>本番で出演者と一緒演奏するための流れ等を確認します。</p>				
出演者	<p>(出演予定者)</p> <p>清野さおり(箏・三絃・十七絃) 清野 樹盟(尺八) 田中奈央一(箏・三絃・十七絃) 長須与佳(琵琶・尺八) 小間夕起子(箏・三絃・十七絃) 山本啓代(箏・三絃・十七絃) ※東京藝術大学音楽学部邦楽科卒のメンバー</p>				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 6 名	運搬	積載量: 2 t		
	スタッフ: 4 名		車長: 6 m		
	合計: 10 名		台数: 2 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	午前公演8時 午後公演11時	8時～10時 11時～13時	10時30分～12時 13時30分～15時	10分	12時～13時 15時～16時	13時30分 16時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	14日	10日	19日	22日	
	11月	12月	1月	計	136日	
	20日	15日	16日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10～20人
		鑑賞人数目安	特に制限なし



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1学年程度(小規模校の場合は複数学年対応可)
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>① ワークショップでは、箏20面・三絃10丁・尺八20管・その他備品(琴爪・三絃用バチ・譜面台など)を持ち込みます。 参加児童生徒さん全員が3種類の楽器全て体験することができます。</p> <p>② ワークショップ用の教材資料・楽譜・準備物が記載された資料を、実施1カ月前程度に学校に送付致します。</p> <p>当日、参加児童生徒さんに配布をお願い致します。(事前指導は必要ありません)</p> <p>③ 児童生徒さんの箏爪のサイズ合わせ時や移動時には、スムーズに指導ができるよう先生方にもお手伝いをお願い致します。</p> <p>④ ワークショップ後に、本公演での「さくら演奏」の参加希望者を10人決定します。 (児童数の多い学校で、希望の多い場合は「さくら演奏」2回実施可)</p> <p>⑤ ワークショップ参加希望の人数が多数の場合は、可能な限り対応できるように指導者の増員やコマ数を増やして実施致します。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>児童生徒さん体験用の楽器(箏・三絃・尺八)を持ち込みます。 初めて和楽器に触れ、楽譜を見る児童生徒さんが多いと思います。 ワークショップで学習することにより、気持ちを合わせることの大切さや合奏することの喜び、そして日本の楽器の音色や奥深さを感じて頂きたいと思います。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等			

本事業への申請理由

【公演団体名

邦楽グループ「玉手箱」

】

①本事業に対する取り組み姿勢

本事業を通し、全国の多くの子供たちに、本物の日本の良き音色や伝統文化の大切さを、体験の中で感じてもらい、芸術性を養ってもらいたいと思います。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

- 1.年間を通じた公演が可能。
- 2.学校との事前打ち合わせを綿密にする。
- 3.ワークショップ用の教材プリント、箏・三絃譜の作成、送付。
- 4.ワークショップの学校用準備確認書プリントの作成、送付。
- 5.本公演の学校用準備確認書プリントの作成、送付。
- 6.ワークショップ・本公演それぞれ、実施一週間前と、実施前日の学校への開始時間等の最終確認電話連絡の徹底。
- 7.その他、リクエスト曲などのご希望に、柔軟・敏速に対応。
- 8.公演後に、児童の感想文や学校の先生方、及び、文化庁から視察に来られた企画委員の先生や教育委員会の先生方のご意見を参考に、今後の活動に対応。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

魅力の和楽器体験

ほう がく にゅうもん 邦楽入門コンサート

～日本の音をもとめて・古典から現代への伝統～



古いものの中に、新しいものがいっぱいあります。

●「玉手箱」と合奏する体験コンサート●

●プログラム曲の例●

●六段調 ろくだんのしらべ

江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の作曲です。

箏、三味線、尺八の合奏で、三曲合奏と呼ばれています。

●鹿の遠音 しかのおね 尺八独奏

教科書に掲載されている古典名曲。秋の山に鳴き交わす二頭の鹿の様子をあらわしています。

●琵琶(びわ)の独奏 平家物語より「祇園精舎」

初めて見る聴く日本の和楽器「琵琶」の弾き語り。

●春の海 はるのうみ 箏と尺八の二重奏

近代箏曲家で十七絃の考案者で有名な宮城道雄の作曲です。お正月にはかならずきこえてくるお馴染みの曲。

●雪ものがたり 箏 十七絃 尺八 語り

現代作曲家の沢井忠夫の曲。東北の民話を邦楽合奏の伴奏で朗読する「音楽ものがたり」。

●みんなで合奏してみよう

ワークショップで学習した曲を玉手箱とステージで合奏。

●日本の四季

春が来た 我は海の子 村祭り 雪やこんこん

■曲の間に楽器解説、曲目解説が入ります。

■曲目、曲順、の一部が変更することがあります。

■楽器編成 箏 2 十七絃 尺八 琵琶

▼みんなで合わせ練習



▼こむそう



▼花束贈呈



●全国、北海道から九州まで7ブロックで巡回公演を実施。分かりやすくてたのしいと好評。

●はじめて和楽器を「みる」「きく」「えんそうする」はもちろんのこと、日本の伝統音楽のすばらしさ、楽しさを感じとってもらいます。

●日本のむかしの音楽をいまの子供たちにつたえ、「玉手箱」との和楽器合奏も楽しんでもらえる体験コンサートです。



▲箏、十七絃の解説



▲三絃、三味線とバチの解説



▲公演前のお稽古



▲子供と先生と近所の方と合同演奏

●邦楽グループ「玉手箱」●

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸大出身者の若手演奏家を中心に集めて、あたらしい日本の邦楽を日本の子供たちに、世界に広めようと結成されました。

●出演者●

清野さおり(箏・十三絃) 田中奈央一(三絃) 長須与佳(琵琶・語り) 千葉真佐輝(三絃) 池上亜佐佳(三絃・十七絃) 清野樹盟(尺八) 青木由貴(尺八) 石井琴子(箏、三絃) 清野香菜子(箏・三絃)

※都合により変更することがあります。

■企画制作 ■株式会社アート・メディア・オフィス

邦楽 歌ものがたり

～日本の伝統音楽を子供たちにつえるために～



古いものの中に、新しいものがいっぱいあります。

●「玉手箱」と合奏する体験コンサート●

●プログラム曲の例●

●七福神（山田流箏曲古典）

箏・歌、三弦、浄瑠璃、尺八による「七福神」を歌った「華やかさ」と「粋」なところがききどころ。

●鹿の遠音（琴古流尺八本曲）

教科書に掲載されている古典名曲。

●初夏の印象（山田流中能島欣一作曲）

日本の季節、梅雨の印象と夏祭りの太鼓をイメージした現代邦楽の名曲。

●遊人夢・ゆうとむ（沢井比可流作曲）

創設者高田和子の委嘱によるロック調三味線曲。

●証城寺によるスケルツォ（江戸信吾作曲）

たぬきばやしの童謡をジャズ風に現代邦楽曲にしました。

●むかしのうたものがたり（池上眞吾作曲）

日本むかしものがたりを題材にした邦楽うたものがたり。

●みんなで合奏してみよう

ワークショップで学習した曲を玉手箱と合奏。

- 曲の間に楽器解説、曲目解説が入ります。
- 曲目、曲順、の一部が変更することがあります。

▼みんなで合わせ練習



▼こむそう



▼花束贈呈



- 好評の魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」に続くパートⅡ。
- はじめて和楽器を「みる」「きく」「えんそうする」はもちろんのこと、パートⅡでは、邦楽の「うた」をとりあげます。
- 日本のむかしの音楽をいまの子供たちにつたえ、新しい現代の邦楽も楽しんでもらえる体験コンサートです。



▲箏、十七絃の解説



▲三絃、三味線とバチの解説



▲公演前のお稽古



▲子供と先生と近所の方と合同演奏

●邦楽グループ「玉手箱」●

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸大出身者の若手演奏家を中心に集めて、あたらしい日本の邦楽を日本の子供たちに、世界に拡めようと結成されました。

●出演者●

清野さおり（箏・十三絃） 田中奈央一（三絃） 長須与佳（琵琶・語り） 千葉真佐輝（三絃） 池上亜佐佳（三絃・十七絃） 清野樹盟（尺八） 青木由貴（尺八） 石井琴子（箏、三絃） 清野香菜子（箏・三絃）

※都合により変更することがあります。

邦楽教育の現場に課題

●代表の高田和子氏(故人)による読売新聞掲載記事

「日本の伝統音楽を代表する箏や三味線、尺八にも是非この機会に触れてもらいたいと思う。なぜなら、わたしが邦楽を始めたのも小学生の時に聴いた友達の演奏で箏の魅力に目覚めたことがきっかけだったからだ」。

二〇〇一年の四月から、中学校の音楽の時間に和楽器が正式に導入される明治以来、洋楽一辺倒で、自らの伝統音楽を置き去りにしてきた邦楽教育にとって、まさに歴史的な大改革と言えよう。

だが実は、三十年ほど前から、邦楽は「鑑賞教材」として授業に導入されている。ただそれは、雅楽(観天樂)や宮城道雄の「春の海」の演奏テープを聴く程度で、生徒たちに邦楽への興味を持たせるまでには至っていない。それだけに、和楽器を弾くという

「NPO「邦楽教育振興会」の著原芳男氏らがまとめた手引書がある。とにかく実践的で、その楽器をどう弾いたかが書いてある。先生でも、すぐ授業に役立ちます。書かれていない部分については、先生が工夫して教える。」「かくれん」を用い、クラスに帯が一面しかない場合の教え方まで考えられています。

だが、箏や太鼓ばかりでなく、尺八にも、三味線、尺八にも、ぜひ触れてもらいたい。昔ながらの邦楽を始めたのも、小学生の時に聴いた友達の演奏で箏の魅力に目覚めたことだ。

邦楽教育の経験がない邦楽の専門家、双方で協力しなければ、充実した授業は望めない。これに関連する「わたが、昨年七月、教育臨検法施行規則が一部改正され、和楽器(伝統的歌唱法が義務付けられた。今のところ、一般大学の教育学部や音楽大学では、教員志望の学生を対象に、和楽器実技を必修とした新カリキュラムの準備をしている段階。中・高の現場で行おうとしている大学もある。」との調査を、中学校の音楽教師も受け入れられるようにできないだろうか。

「わたしも、教員が身分を保障されたまま、大学で研修を受けて、邦楽の現場で活躍する制度があると思う。音楽教師にそれが活用されれば、かなり行き渡るのではないだろうか。残りの課題は、教員が洋楽に比べて育った現場の先生と、学校で提供されれば、かなり活用されればと思う。」

また、大学で邦楽を教えるとなると、多数の専門家が必須となる。つまり、邦楽人が自分の技能を生かせる場が増えることになる。これが仕事として成り立つようになれば、邦楽界の中からも積極的に参加しようとする動きが生まれるのではないか。

「和楽器導入」を促すため、邦楽教育が推進され、ひいては邦楽が活性化されることを期待したい。

(三枝・雅彦(音楽家))



高田和子

教材「入門」後の作品探し

楽器 箏や三味線の確保策

教師 大学講義の履修促進

今度の計画が、子供たちの感性にどんな刺激を与えるか、今から楽しみです。

けれど、何の楽器をどのようにつけて指導するかは、すべて現場にまかされている。しかも、そのための新たな予算はない。このことが、邦楽の専門知識を持たない音楽教師の間には、不安と混乱を生じさせている。

和楽器必修にあたって、まず問題となるのは、教材、楽器、教師だ。

「このうち教材に関しては、

文化

格で提供されれば、かなり行き渡るのではないだろうか。残りの課題は、教員が洋楽に比べて育った現場の先生と、学校で提供されれば、かなり活用されればと思う。」

また、大学で邦楽を教えるとなると、多数の専門家が必須となる。つまり、邦楽人が自分の技能を生かせる場が増えることになる。これが仕事として成り立つようになれば、邦楽界の中からも積極的に参加しようとする動きが生まれるのではないか。

「和楽器導入」を促すため、邦楽教育が推進され、ひいては邦楽が活性化されることを期待したい。

(三枝・雅彦(音楽家))

●邦楽グループ「玉手箱」は、子供たちとのふれあいを大切にしています。●



「日本の楽器っておもしろいな、すごいな。」

弦を爪ではじめてひく竹箏。私は、びんの上でひくのは初めてでした。担任の先生から「六年生は、やしろの曲を玉手箱のひなちゃんといくんですよ。」と言われた時、私はひけるかなと心配になりました。でも、玉手箱のひなちゃんか私たちにこのように教えてくれた。たのびの一番の上手にひくことができました。あかこさんありがとうございました。私も、この機会がまたあります。

戸奈良小 六年

